

Parti

パルティ

講座・イベント れぽ〜と	6
ち・い・き Pick up!	10
相談ルームから	12
情報ライブラリーから(本の紹介)	13
平成27年度前期講座案内	14
インフォメーション	16
✧ めざせカジダン・おすすめレシピ	10
✧ ぐる〜ぷ・もみの木のおすすめシネマ	13

特集

TOCHIGIで輝く☆『働くウーマン』プロジェクト報告
女性の活躍加速化大会 〜女性の力を企業の力に〜

…2



パルティとは？

“参加・参画”を意味する
Participacion (スペイン語) から引用された、
とちぎ男女共同参画センターの愛称です。

報 告

TOCHIGIで輝く☆
「働くウーマン」プロジェクト

女性の活躍で、TOCHIGIがもっと元気になる！
平成26年度からスタートした「働くウーマン」プロジェクトを報告します。
女性も男性も、社員も経営者も、学生や起業を目指す女性も…みんなで共有した「女性の活躍推進」。
それは、誰もが働きやすく、暮らしやすい、多様な人が自分の力を発揮できる社会につながります！

TOCHIGIで輝く☆
「働くウーマン」プロジェクトとは？

「女性の活躍」に関する現状や課題・改善策を共有し、栃木県における女性の活躍をさらに推進するため、県が本年度立ち上げた事業。

とちぎ男女共同参画財団、経済団体、高校・大学、金融機関など13の団体・企業と連携し、女性経営者やキャリアの先輩などを講師に迎えたセミナーやキャリアアップのための講座など、7つの事業を展開しました。



2 トップセミナー 7月8日(火)

講師

有限会社キュー 代表取締役
キャリアコンサルタント
ダイバーシティコンサルト

植田 寿乃 さん



▲セミナーには経営者を中心に約100名が参加しました。

講師の植田さんは、「企業を取り巻く環境が激動する変化の時代には、大きなピラミッド型の組織では動きが鈍くなるので、縦の繋がりでなく、横に繋がっていくネットワークが大切。自然体の女性リーダーがロールモデルとなり、女性リーダーを育てる力が企業を強くし、女性

が活き活きと働いている会社には活力がある。まずは、経営陣が『女子力』が会社の未来を開き成長することを信じ、本気で取り組む覚悟が求められる。意識改革だけでなく言動、態度の変革が重要。」と話されました。そして、女性活躍推進の鍵を握るのは男性上司であり、人材育成や信頼関係構築に努めるべきだと強調されました。

1 公開講座 8月21日(木)

講師

G&S Global Advisors Inc.
代表取締役社長
経済同友会副代表幹事

橘・フクシマ・咲江 さん



▲外柔内剛。ソフトで上品な口調でグローバルな視点の重要性をお話しいただきました。

「競争力強化のためのダイバーシティ」女性の力を企業の力に！と題して、宇都宮大学にて講演会が開催されました。これまでに見てこられた企業の事例などをもとに、競争力を高めるには戦略的で柔軟な思考が必要であること、また、男性の育児参画を進めるとともに、公

「競争力強化のためのダイバーシティ」女性の力を企業の力に！と題して、宇都宮大学にて講演会が開催されました。これまでに見てこられた企業の事例などをもとに、競争力を高めるには戦略的で柔軟な思考が必要であること、また、男性の育児参画を進めるとともに、公

正な実力主義による「適所適財」が大切であることなどを熱心に訴えられました。

当日は約150名の参加があり、「ダイバーシティの重要性の理解が深まった」「男性・女性に関わらず、働く上で大切なことを学べた」などの感想が寄せられました。

4 働き方見直しアドバイザー養成講座 第1回8月7日(木)・第2回9月24日(水)

講師

㈱TMC経営支援センター
代表取締役社長

葛西 美奈子 さん



▲女性は意欲のある人が多い

企業における働き方についての助言を行うアドバイザーを養成するため、経営指導等を行う中小企業診断士や銀行員等を対象に講座を実施しました。

葛西さんからは、企業にとつてのWLB※の重要性などについてお話いただき、約2ヶ月後に実施したアンケート調査結果では、参加者の約半数の方から実際に働き方について企業に働きかけたとの回答を得ました。

※WLB：ワーク・ライフ・バランス

3 キャリア・マネジメント講座 7月～10月(全4回)

▶第2・3回を担当

講師

㈱あしぎん総合研究所課長
野内 比佐子 さん



県内企業などで活躍が期待されている女性を対象に、キャリア形成や意識改革を支援することを目的とした本講座は、企業からの推薦により29名の女性に参加。第1回ではキャリアの先輩である東武宇都宮百貨店取締役総務部長兼人事部長の藤沼千春さんなど2名の講師による講演、第2・3

回は、栃木県の経済やロジカルシンキングなどについて、野内さんをはじめとする専門講師による講習、最終回には、講師にインソースの酒井衣子さんを迎え、今後のキャリア・デザインを考えました。

受講生からは、「積極的な女性が多いことに驚いたが、自分自身へのよい刺激になった」「男女の差なく、意欲的な人はどんだんステップアップできることに気づいた」などの声があり、働く女性同士が、ともに学び、素敵なキャリアアップへの第一歩を踏み出す機会となりました。

6 新しい時代を生きる 女子高生のためのキャリア講座 6月8日(日)

将来の女性リーダーを目指して、女子高校生がこれからの働き方・生き方を考えました。

午前の講義では、働く女性の現状とこれから求められるリーダーシップや自立の大切さについて学びました。

午後のワークショップでは、グループになり「男性の育児促進プロジェクト」を開発。課題発見・解決力やアイデア創出、チームワークを磨きました。



▲「いいねぞれ！」
ポジ出し※でチームワーク抜群。

※ポジ出し：「ダメ出し」でなく「ポジティブなアイデア出し」



▲岡崎 エミさん

▲角 めぐみさん

講師

NPO法人ハナラボ
角 めぐみ さん
studio-L
岡崎 エミ さん

5 フェスタ in パルティでの女性活躍推進企業紹介 11月15日(土)



県内で女性活躍推進に積極的な企業の取組やフェスタへの協賛企業を紹介するとともに、国、県及び市の女性活躍推進に関わる制度をパネル等で紹介し、多くの方にご覧いただきました。

7 女性の起業応援セミナー公開講座～女性の起業が社会を変える！～ 「はたらく」×「創る」～ ないなら創ろう、私らしい働き方 12月6日(土)

講師

有限会社モーハウス
代表取締役
光畑 由佳 さん



▲「起業は自分1人でやろうとせず周りの人の力を借りて」と参加者へ温かいアドバイスもありました。

女性の活躍加速化大会

入門編 夢をかなえるファーストステップ

講師

マインドマップ
シニアインストラクター
安田 真知子 さん



公開講座に続いて入門編ではマインドマップを描くことで、起業に対する疑問や不安を明確にする方法を学びました。また、先輩女性起業家の体験発表や交流会も行われ、参加者からは「やるべきことがより明確になった」などの意見が寄せられました。

講師自身が0歳児を連れた外出先で不自由さを感じた体験をきっかけとした、授乳服の制作・販売を行う(有)モーハウスの起業について、また「子連れ出勤」など子育て中の女性も働きやすい職場づくりについてお話いただきました。参加者からは「起業に向けて勇気をもった」との声が聞かれました。

《《 次のページへ

加速化大会

～女性の力を企業の力に～

栃木県が本年度展開してきた女性活躍推進事業「TOCHIGIで輝く☆『働くウーマン』プロジェクト」の集大成として開催。

プロジェクトの報告、(公財)21世紀職業財団の岩田喜美枝さんをお迎えしての基調講演、そしてパネルディスカッションを行いました。

プロジェクト報告

報告者

「女子高生のためのキャリア講座」

作新学院高等学校2年

大川 詩織さん・吉上 葵さん

「キャリア・マネジメント講座」

(株)アラマキ

荒牧 菜苗さん

「トップセミナー」

(株)栃木銀行 代表取締役専務

鷹箸 一成さん



鷹箸さんは、各企業のトップが「女性の力がなくては、この組織の将来性はなくなる」との意識を持つという事、そして世の中の見方が変わったという驚きを語ってくれました。



第1部では、講座に参加した3組の方々に登場いただきました。大川さんと吉上さんは、講師のお話から、女性の働く現状や、自立の大切さを学ぶことができたとし、「なぜ男性の育児参加は難しいのか？」をテーマに話し合った結論を紹介。新たな休暇制度や家族の在り方を考えるプロジェクトを提案してくれました。

荒牧さんは、「女性の活躍を拡大するために、私たち自身が実績を作り、今後も夢や目標を大切に、一歩を踏み出して！」と熱い思いを伝えてくれました。



4

特集

TOCHIGIで輝く☆『働くウーマン』プロジェクト報告

「女性の力を企業の力に」 基調講演

講師

(公財)21世紀職業財団会長
前(株)資生堂代表取締役副社長

岩田 喜美枝さん



第2部では、岩田喜美枝さんにご講演をいただきました。

世界から見て恐ろしく女性活躍が進んでいない日本の現状を、残念と思うようにして欲しいと話されました。

また、「男女ともに子どもを育てながらキャリアアップ」できるようにするために、仕事と育児の両立支援の方向転換、働き方の見直しが必要だと語られました。多くの企業が正社員に求める、「何時間でも働ける」「急な残業もできる」という「常識」を払拭し、男性の働き方を見直すという提案に、会場の参加者は真剣に耳を傾けていました。

最後に、「女性にも仕事の醍醐味や達成感を与えてあげることが大切。目の前の仕事を一生懸命にやることで、想像もつかないチャンスが訪れる。夢を諦めないで」と会場の女性に呼びかけました。

県

★いい仕事いい家庭
つぎつぎとちぎ宣言

栃木県内の女性の活躍や仕事と家庭の両立を応援する制度をご紹介します。



この宣言は、企業や事業所の責任ある立場の方がこれから取り組もうとする内容を宣言することにより、「仕事と家庭の両立」及び「女性の活躍」が可能な雇用環境の実現につなげることを目的とします。また、宣言により、従業員のやる気の向上や優秀な人材の定着や確保が容易になるなど、様々なメリットが期待できます。

宣言企業は、県のホームページで紹介されるほか、県から登録マークが交付され、この登録マークを名刺や会社案内等といった商品や役務以外のものに使用し、従業員を応援する企業としてアピールすることが出来ます。

栃木県産業労働観光部労働政策課
028・623・3218

★「子育てにやさしい事業所」顕彰

法律に準拠した育児休業制度を設けているほか、子育てと仕事の両立を容易にする制度を設けるなど、従業員に配慮した柔軟な雇用管理を行っている事業所を「子育てにやさしい事業所」として顕彰することにより、これ

12月19日(金)

TOCHIGIで輝く☆
「働くウーマン」プロジェクト

女性の活躍

パネルディスカッション



コーディネーター

(公財)21世紀職業財団会長
前 ㈱資生堂代表取締役副社長

岩田 喜美枝さん

パネリスト

㈱板通 代表取締役社長 ㈱あしぎん総合研究所 課長

板橋 信行さん 野内 比佐子さん

渡辺建設㈱ 営業本部 開発営業部 建築士 ㈱深井製作所 総務課長

滝澤 智恵子さん 高瀬 創さん

続いて、岩田さんをコーディネーターに、4名のパネリストをお迎えし、「女性の活躍の現状・課題・展望」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

女性が活躍するために必要なこととして、滝澤さんは「性別での括りや考え方をしない環境が必要」であると、また、野内さんは「企業側の強い意志、ロールモデルとやりがいの創出が重要」であると話されました。

会社の次期中期経営計画の中に、女性の活躍をプランニングをしている高瀬さんからは「先入観や固定観念を払拭し、職場素質を考慮することが大切」との話を伺いました。

さらに、企業ができる取組として、男性

型の仕事環境の改善、女性へのリーダーシップ学習の提供などが挙げられました。

板橋さんは、プロジェクト報告で語られた高校生のアイデアに面白いと感想を述べられた上で、「働き方を見直し、多様な人たちが働ける仕組みにすることが大切。女性活躍推進事業は一過性のものにしてはいけない」と会場へ呼びかけました。

最後に岩田さんから参加者に向けて、「女性の活躍推進を考えた時、男性問題や子育てなど様々な問題が出てくること、多様な人たちが自分の力を発揮できる社会にするために、問題意識を共有して進めていきたいと思います」とのメッセージをいただきました。

市

らの取組の普及を図ります。

栃木県保健福祉部こども政策課
子育て環境づくり推進担当
☎ 028・623・3068

市内に事務所または事業所を有する事業者を対象に、男女共同参画社会の実現を目指すため、男女の性別にかかわらず個性と能力を発揮できる、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰・認定し、事業者の取組を支援するとともに、働く場における男女共同参画の輪をより一層広げていくことを目的としています。

★男女共同参画推進事業者表彰

宇都宮市「さらり大賞」

市民まちづくり部男女共同参画課事業計画グループ

☎ 028・632・2346

日光市 健康福祉部人権・男女共同参画課

☎ 0288・21・5148

真岡市 教育委員会生涯学習課女性青少年係

☎ 0285・82・7151

大田原市 政策推進課市民協働係

☎ 0287・23・8701

那須塩原市 企画部市民協働推進課

☎ 0287・62・7019

★ワーク・ライフ・バランス 推進事業者認定事業

小山市 総務部男女共同参画課

☎ 0285・22・8078

お問合せは各市役所へどうぞ

男女共同参画について考える発表・展示



自分力アップ「和み」

子育てや男の生き方を考える寸劇「さんかく三題」



ゆう企画

様々な分野で活躍した初の女性連を紹介、研究誌販売



栃木県女性団体連絡協議会

全加盟団体による活動報告



くる～ぶ いろりの会

男の料理を披露！ポテトフライの販売



くる～ぶ もみの木

「引退のない生き方～高齢社会を元気に生きよう～」展示・喫茶



とちぎつばさの会

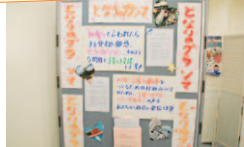
男女共同参画について考える YES・NO クイズ

子育て支援の発表・展示・体験



栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会

食育マット作りで和食の良さを見直し、親子で孤食・個食について考えよう



となりのグランマ

子育て支援の活動報告とアンケート「子育てで困っていることは？」の聞きとり



ちゅうりっぷ (宇都宮市家庭教育オピニオンリーダー会)

親子一緒に懐かしい童謡を歌いながら、地域全体での子育て支援の重要性を考える



とちまるくん・ルリちゃんと一緒に、男女共同参画について考えよう！

フワフワハウス

今年も子供たちに大人気！フワフワハウス



オープニングイベント

暮らし・生活の発表・展示



全国友の会 栃木支部

社会の変化とともに変わった女性の時間の使い方についての展示



栃木県消費生活リーダー連絡協議会 宇都宮支部

寸劇「うまい話にご用心！」 悪質商法を撃退！

11月15日 (土)

「変えよう！変わろう！かがやく未来へ！」

フェスタinパルティ

2014を開催しました

「変えよう！変わろう！かがやく未来へ！」をテーマにフェスタinパルティ2014を開催しました。女性の活躍推進や男性の地域・家庭への参画をすすめる出展など、パルティを拠点に県内で元気に活動している

73の団体・グループが日頃の成果を発表しました。男女共同参画を考える発表や寸劇、歌やダンス・ミュージカルなどのパフォーマンス、手作りの品の販売、親子で一緒に楽しめる体験コーナーなど、多彩

な企画が盛りだくさん。1300人の来場者が笑顔で楽しむ様子が多く見られました。子どもから大人まで様々な世代が交流を深め、元気になるフェスタとなりました。



とちぎ次世代人材づくり

2014

vol.2

新しい自分に会いに行こう！～半年間の研修成果を披露しました！～



▲日本女性会議に参加してきました！！

2月8日(日)、パルティホールにて研修成果発表会を開催しました。

研修生25名は5つのグループに分かれて、それぞれがまちおこし、高

齢者、子育て、女性リーダー創出などテーマを決め、北海道での先進事例調査や日本女性会議への参加、さらに県内の地域活動実践者との交流など、同じグループの仲間たちと協力して、約半年間にわたり調査研究を重ねてきました。

この日、研修生たちはその成果を堂々と発表し、地域のリーダーとして活躍できる日は近いのでは、と期待させる素晴らしい発表会となりました。



▲私たちの調査研究結果は…、そして提案します！

11月16日
(日)



女性への暴力を考える講演会 「傷つく家族 ～あなたの身近で起きていること～」

▲ユーモアを交えた、専門家ならではのエピソードをお話いただきました。

講師 原宿カウンセリングセンター所長 信田 さよ子 さん

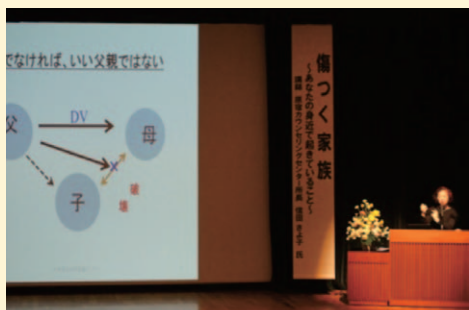
11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、女性への暴力を考える講演会を開催しました。

今回、原宿カウンセリングセンター所長で、臨床心理士でもある信田さよ子さんをお招きし、家族内で起きている暴力をテーマに、カウンセリングの現場から見てきたこと、果たすべき使命等についてお話いただきました。

DV被害者の97%は女性であるという現実、支援者は常に弱者の立場に立つことの重要性を強く訴えられました。

また、DVの目撃は児童虐待にあたり、DVを目撃して育つと多くの場合、男性は連鎖し、女性には自傷するという形態をとること、DV加害者更生プログラムに来ている男性を見ると、大半がDVを目撃しながら育ってきていることがうかがえ、威圧しない非暴力的な父親が、次世代の家族の平和を作ることを説かれました。

参加者からは、「家族について改めて考えることができた」「現場でどのようなプログラムが行われているか、具体的に話を聞くことができた、大変参考になった」などの感想がありました。



7

講座・イベントレポート

「男女共同参画の視点による誰もが幸せな社会づくり」 協働実践事業 (7/26～9/27)

宇都宮大学生 & 男女共同参画地域推進員が 初！！コラボ

～多様な21人にインタビューして
啓発冊子をつくりました～



イラスト
ひらたともみさん

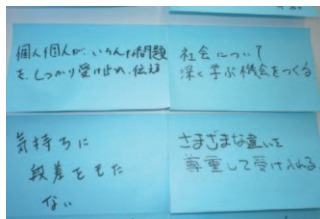


▲学生と推進員のコラボ風景

『誰もが幸せな社会』をつくるためには、どんなことが必要なのでしょう？
宇都宮大学生と栃木県男女共同参画地域推進員がペアを組んで、さまざまな背景をもつ人たちにインタビュー調査を行いました。

宇都宮大学の廣瀬教授、良准教授、清水准教授から、多様な性やインタビューの基礎を学んだ後、ペア同士で役割分担や詳しい質問内容について話し合っ

て決めました。
インタビューには、シングルマザー、DV被害者をはじめ、多様な21人の方が協力してくれました。
インタビューの後、学生は報告書をまとめました。そして、推進員は啓発資料を作成し、これを編集したのが、啓発冊子「ひとりひとりが幸せな社会のために」です。
県のホームページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。



▲調査に参加した感想 (一部)

7月～11月

とちぎ女性政策塾



◀事務局役と審議員役になり模擬審議会を行いました。実際にやってみると、それぞれに求められる課題や難しさがよく分かります。



▶グループワークにも熱が入ります。

男女共同参画の視点を持ち、政策・方針決定過程に参画する女性の育成と支援を目的とした「とちぎ女性政策塾」を実施しました。

各種審議会等の委員に必要とされるリーダーの資質等の知識、統計の読み解き方やデータを使った表現のスキル等を5回の基本コースと25回の選択コースによる講義やグループワークを通して学びました。

ワークの中では自分たちで見つけた課題をまとめ上げ、最終回ではその成果品により模擬審議会を行いました。今年度は22名が修了しました。

8月～9月

地域指導者養成講座（基礎編）



▲「先入観にとらわれない」

第1回 「ファシリテーション」

講師 宇都宮大学 教授 廣瀬 隆人 さん

会議などの進行役をする際には、先入観にとらわれず、相手を受容し、話しやすい雰囲気の中で対話によってメンバーの意見を引き出す重要性を学びました。



▲「声は相手へのプレゼント」

地域のリーダーとして、活動の幅を広げたい、一緒に活動する仲間を作りたいという思いを持つ方や、地域で男女共同参画を推進している方などを対象に、引き出すチカラ、伝えるチカラを実践的に学びました。



第2回 「プレゼンテーション」

講師 フリーアナウンサー 白井 佳子 さん

相手のたたずまいや声には強い印象を受ける、会話は聞くことに軸足を置く、4～5m先の相手へ放物線を描くように発声するなどの具体的な方法を学びました。

9月～10月

男女共同参画セミナー ステップアップコース（全3回）



第1回 「世界の男女共同参画～グローバル視点から考える日本の未来～」

講師 関西学院大学客員教授、国際協力NGO プラン・ジャパン理事ほか 大崎 麻子 さん

国連での経験談をはじめ世界の女性やジェンダー問題から、日本の現状に目を向け、男女共同参画社会への理解を深めていきました。一人ひとりが持つ生まれた可能性を開花させられるように、すべての女性が真に輝く社会を築くことの大切さを学びました。



第2回 「社会に隠された女性の貧困 ～若年女性の働く、生きる、未来を考える～」

講師 東京学芸大学人文社会科学系准教授 山口 恵子 さん

現代社会の若年女性が直面する貧困（経済や人間関係の貧困）の実態やその背景について、ワークショップを行いながら話し合いました。望ましい未来のためには、個々の思い込みを取り除き、社会構造的な問題に目を向ける必要があることを学びました。

講義や参加型体験学習を通して、男女共同参画の実現のために、自分に何ができるのかについて皆で考えました。

第3回 「“もったいない力”を活かす～地域の元気をつくる社会づくり～」



講師 下野新聞社記者 山崎 一洋 さん
特定非営利活動法人 ゆいの里代表 飯島 恵子 さん

超高齢社会で団塊の世代が全員75歳になるまで、あと11年。高齢化していく栃木県の現状と命の質、お互い様でさりげなく支え合う地域づくりについて学びました。“もったいない力”とこれからの生きる自分に大切なことを、みんなで一緒に考えました。



そして、これから一歩踏み出して行動するために必要な知識とコツを、全3回を通して学びました。

12月～
2月

男のライフバランスを考える講座（育児編・介護編）

介護編

第1回

講師

特定社会保険労務士 池田 功 さん
日本赤十字社栃木県支部
職員のみなさん



第2回

講師

日本赤十字社栃木県支部
職員のみなさん

高齢者に起こりやすい事故とその手当を学び、ヨールグルトを使用した食事介助を体験しました。
ライフバランスを考える上で避けて通れないテーマの育児と介護。ワークと実技を通じて、より理解を深められる時間となりました。



▲器具を装着して後期高齢者を疑似体験

介護編①「オトコの介護を考える～大介護時代に負けないワーク・ライフ・バランス～」
前半は講師の介護体験を通して介護保険制度や在宅介護サービスについて学び、後半は高齢者疑似体験から介護する側とされる側について考えました。
介護編②「すぐに役立つ介護のコツ！」
～高齢者を笑顔で暮らすために～

性生殖に関する健康と権利を意味する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を題材にした創作落語をもとに、出産の自己決定を含めた男女のWLBのあり方を考えました。



▲寄席風の会場で創作落語を体験

育児編

第1回

講師

NPO法人ハロードリーム実行委員会実行委員長
シニアファシリテーター
石田 智子 さん



第2回

講師

男女共同参画落語創作・口演家
千金亭 値千金 さん



育児編は子育て中の男性に限らず様々な年代の方の多様で柔軟な生き方を支援すること、介護編はこれからの大介護時代に向き合うため「仕事と家庭と介護の両立」を見つめ直すこと、これらを目的として開催しました。
育児編①「子どもの心を開く笑顔のコーチング」
笑顔のトレーニング「笑顔っこ」などのワークを通して、笑顔の大切さを体感しながらコミュニケーションスキルを身に付けました。
育児編②「落語と歌で楽しく考える男女共同参画『わく・らいふ・ばらんす』」

9

講座・イベントレポート



▲「決めるのは他の誰でもない、自分です」

何かからはじめたらいい？ よりよい人生を送りたい女性のための 終活セミナー

講師

行政書士 社会保険労務士
NPO法人エンディングサポートセンターコスモス副理事長

ふかみ 史 さん

終活＝終末活動	
今から死までのことを準備すること	
遺言	3種ある遺言のうち「公正証書遺言」(有料、公正証書役場で作成できる)を遺すこと。「自筆証書遺言」は無効となる場合が多く、また、口頭で伝えるだけでは効力がない。
葬儀	家族葬が増えているほか、散骨などの自然葬、樹木葬、新しいものではバルーン(風船)葬なども。
墓	1948年の民法改正以降、家制度はもう存在しない。「先祖代々の墓」「〇〇家の嫁」という慣習に縛られる必要はない今、自分の望む墓に入ろうという選択肢も。
介護・終末医療	強い希望があるのなら「尊厳死宣言公正証書」を作成し家族へ意思表示。認知症などの高齢者には「成年後見制度」という手段も。
おひとりさまの終活	生前委任契約、遺言の委託(NPOなど)、葬儀社との生前契約など、元気なうちに準備を。
エンディングノート	書いた内容に法的効力はないが、身近の覚書や自分の考えを整理するために活用できる。

女性は、育児や家事、介護などを「妻、嫁、娘、母だから」という立場で抱え込んでしまいがち。そんな固定的性別役割分担の考え方に縛られることなく、ひとりの人間として自分に向き合い、自分や家族のことを考える終活講座を開催しました。講師は、行政書士としての知識と経験でエンディングサポートを数多く手がける深見 史さん。豊富な事例や参考文献、専門知識を織り交ぜながら、初めて聞く方にもわかりやすくお話しいただきました。講座のまとめでは、これまでの人生を振り返り、自分らしいエンディングを考えるライフシートを作成。それをもとに会場全体で意見を交わし、共有しました。受講者からは「初めて聞くことばかり。きちんと知ることができ勉強になった」「人生を生き切ったと実感できるような生き方をしたい」「自分自身を大切にしたいのだと強く思えるようになり、勇気が出た」といった感想が寄せられました。



▲グループワークの様子。「これからどう生きる?」「家族に何をしておけるだろう」想いを馳せます。

アサーティブ・トレーニング講座

1月

講師 TEENSPOST 代表 思春期・家族カウンセラー
八巻 香織 さん

他者とのコミュニケーションでは、様々な気持ちがあき起こるもの。自分のどんな気持ちも素直に受け止め、相手に誠実に伝えることで、豊かで対等な関係を築いていく「アサーティブ」なコミュニケーション方法を2日間にわたって体感しました。

講座の後半ではグループで寸劇を上演。自分の中で習慣になっている「キレる、タメる、コモる」自己表現のステップを、しなやかにアサーティブな自己表現へと変えるにはどうしたら良いか、自分と向き合いながら仲間と共に表現



アサーティブな自己表現とは？仲間と共に考え、表現しました！



しました。温かな想いに包まれた講座となりました。

ママのための再就活セミナー 不安がやる気になる！

11月

第1回 講師 彩ライフデザイン研究所代表
川鍋 節子 さん

第2回 講師 ハローワーク宇都宮駅前プラザマザーズコーナー
藤浦 智子 さん

子育て中の女性に向けて再就職を応援する講座を開催しました。

○第1回
「じぶん再発見！
ライフプランと適職を考える」

仕事の価値観や興味を見つめ直すワークを行い、ライフプランと適職を考えました。

○第2回
「知りたい！子育てと仕事の両立
～先輩ママの事例を紹介～」

県内保育サービス資料の配布、マザーズハローワークの活用方法や子育てと仕事を両立するアドバイスを聞きました。



第1回
ライフプランや適職をじっくり考えました。



第2回
交流会ではママ同士で自由に意見交換。

また、自由に意見交換を行う交流会を各回で実施。参加者からは「自分と向き合う時間が作れた」や「一歩を踏み出すきっかけになった」との声が聞かれました。

夫婦で向き合う産後ケア

～マドレボニータ 夫婦講座～

10月4日(土)、NPO法人マドレボニータの産後セルフケアインストラクターによる『夫婦のための産後セルフケア講座』が、すまいるプラザ宇都宮で開催されました。

夫婦向け講座の開催は栃木県内で初めて。同NPO法人の吉田紫磨子さんを講師に、前半はバランスボールで有酸素運動、後半は産後女性の心身の変化や「産後三大危機」などの話、夫婦でのコミュニ

ケーションの時間として「シェアリング」を行いました。講座を企画した同NPO法人の佐藤直子さんは「夫婦で産後の心と体の変化を共有しておく、女性の気持ちは少し楽になり、産後うつなどの防止にもつながる」と、夫婦向け講座を増やしていきたいと話します。

▲有酸素運動をしてスッキリした頭で、後半の講義やシェアリングに入ります。



めざせカジダン！

おススメレシピ

宇都宮大学の男性教職員と男子学生を対象とした料理教室「OLE'S KITCHEN」から、ごはんがススムかんたんレシピをご紹介します！



豚の生姜焼き

OLE'S KITCHEN

家事への関りを高めることでワークライフバランスW L Bを実践する「俺」を増やそう！
男の料理教室を毎月一回開催。



●材料（一人前）

- ・豚バラ肉（一口大に切る）100g
 - ・玉ねぎ 1/2個
 - ・キャベツ 半玉
 - ・小麦粉（豚肉にふるう）… 適量
 - ・生姜焼きのたれ
- ※玉ねぎ 1/2個分 } すりおろす
- ※しょうが …… お好みで
- ※ニンニク …… 1片分
- ※しょうゆ …… 大さじ2 1/2
- ※はちみつ …… 大さじ1
- ※料理酒 …… 大さじ3
- ※みりん …… 大さじ1
- ※ケチャップ …… 大さじ1 1/2

●作り方

- ①たれの材料と豚肉をボウルに入れてよく混ぜラップをかけ、冷蔵庫で30分ほど味をなじませる。
- ②キャベツは千切りにして水にさらしておく。玉ねぎはくし形に切る。
- ③①のボウルから豚肉を取り出し（タレは取っておく）、小麦粉を薄くまぶす。
ワンポイント 平らなお皿などに肉を並べて茶こしで小麦粉をふるうとラクチン！
まぶした粉がたれを良く絡めるので、安い肉も柔らかくジューシーに！
- ④油をひいたフライパンで③を焼く。火が通ったら玉ねぎを加えてさらに炒め、最後にボウルに残ったタレを加えて汁気を飛ばすようにして炒めること3分で完成！

講師：薄井 良紀さん（居酒屋 心・ワイン酒場 Glow of・溶岩焼肉 BULLS 経営）

10

講座・イベントレポート・ちいき Pickup!



ち・い・き pick up!

県内で開催された催しや、団体などの活動を紹介します。

防災・女性活躍を考える

宇都宮大学 男女共同参画推進室の取り組み

昨年11月に、宇都宮大学において2つのシンポジウムが開催されました。

16日は「防災・震災復興と『男女共同参画』—震災から得た教訓は何か—」と題し、当財団作成「防災ハンドブック」の紹介や、性同一性障害の当事者から避難所での困難について、「那須塩原・放射能から子どもを守る会」「栃木避難者母の会」の関係者からは原発事故や



▲防災・震災復興と「男女共同参画」

放射能の影響を心配する母親の苦悩などが語られました。

27日は「かがやく女性輝く社会」。消費者庁長官 板東久美子さんの基調講演、県内で活躍する女性4名のパネルディスカッションが行われました。女性のキャリア形成には様々な障壁があるが、●解決する覚悟を持つ ●周囲の助けに申し引き目ではなく感謝 ●自らチャンスをつかみに行くなど活躍するヒントが話されました。



▲板東久美子さんの基調講演

性暴力の被害を知り、考える社会にしよう

～ウィメンズハウスとちぎ講演会～

10月5日(日)、パルティで講演会「性暴力を考える講座」女性や子どもたちが安心して暮らすために、DV被害者支援団体の認定NPO法人ウィメンズハウスとちぎの主催で行われ、169名が参加しました。講師は女性の権利に関する事件を多く手掛けている、弁護士角田由紀子さん。

性暴力被害に関する刑法は1907年から現在まで



▶講師の角田由紀子弁護士

根本的な法改正がなく女性に不利であること、警察・検察・裁判官には男性が多く裁く側の経験則の影響が大きいことなどを学びました。栃木県警察学校の生徒の方々も多数参加され、「女性被害者の視点を学ばなければいけない」という声が聞かれました。



▲会場から「話を聞けて良かった」との声が聞かれました。

ワーク・ライフ・バランス キャリアも家庭も欲張ろう WLBで働き方チェンジ! 獨協医科大学女性医師支援センター講演会

第I部「多様な人材の活躍に向けたワーク・ライフ・バランスを考える」

講師 中央大学大学院ビジネススクール 特任研究員、内閣府上席政策調査員 高村 静さん

第II部「これからの新しい働き方～イクボス・イクメン・育キャリア～」

講師 NPO 法人ファザーリング・ジャパン事務局長 徳倉 康之さん



▲多くの調査データを用いて講演する高村さんも仕事と子育てを両立するワーキングマザー。

11月29日(土)、獨協医科大学で第4回女性医師支援センター講演会が開催されました。「少子高齢化や長時間労働、女性の活躍不足など、解決策のひとつはWLB。それを自ら実践する上司(「WLB管理職」)の育成が重要」(高村さん)、また、「育児や家事は仕事でも活かせる経験で、



▲新しい発想で働くとうと話す徳倉さんは3児のパパ。フルタイム勤務医のパートナーと家事も育児も協力。

キャリアを諦める必要はない(「育キャリア」)。育児に協力する男性や部下を理解しマネジメントする上司など、働く環境と風土を整えれば働き方を変えられる(「徳倉さん」)など、より充実した働き方を模索する聴講者にとって、多くの指針を得る場となりました。

3 団体交流会で意見交換

栃木県男女共同参画地域推進員

日光市連絡会会長 加藤 幸子

11月4日(火)日光市にて「おひら男女共同参画をすすめる会」「大田原市女性団体連絡協議会」と3団体の交流会を実施、40名が参加しました。

男女共同参画をテーマに、①活動内容の紹介 ②団体活動のあり方 ③男女共同参画社会には女性だけではなく男性が参画しなければ意味がない ④女性団体という名称では男性が入れないなど、日頃の活動や課題についてワールドカフェ方式で話し合いました。



他団体の長所を聞いて自分たちの活動につなげていけるように、活発に意見が飛び交う交流となり、連絡会の大きな成果となりました。

こんにちは／
相談ルームです。



自分自身を大切に

男女の人権の尊重を掲げている男女共同参画社会基本法が、制定されてから15年の月日が流れました。

しかし、いまだに、「女性だから…して当たり前だ。」とか「女性なのに…している。」という言葉が使われており、生きづらさを感じて日々生活している女性も少なくないのではないのでしょうか。「女性」というだけで、役割を押し付けられたりすることがまだまだあるのではないのでしょうか。

「女性だから」「女性なのに」という固定的性別役割分担意識（ジェンダーバイアス）は、長い歴史の中で、すり込まれてきたものであり、それを払拭するには、まだまだ時間がかかりそうです。

そのような状況下で、「自分さえ我慢すれば」とか「自分が悪いから」と自分を責めてしまうことはありませんか。

そんな時は、相談ルームに相談して

みませんか。

話す事で気持ちが少し楽になり、抱えている心配事や不安を見つめ直すことができれば、心の落ち着きを取り戻せるかもしれません。相談ルームでは、悩みを伺いながら、気持ちを整理するお手伝いをして、女性が一歩でも前進できることを願っています。

もちろん秘密は守られますので、安心してご相談下さい。

一方、男性も同様の思いを抱いている方もいらっしゃると思います。男性相談も開設していますので、ご利用ください。

だれもが自分自身を大切にされることを願っています。

お問い合わせ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時（予約制）

女性のための配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時

土曜日・日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時（予約制）

女性のための健康相談（面接）

毎月 第一木曜日

16時30分～18時30分（予約制）

☎028・665・8720

男性のための電話相談

毎週 月曜日・水曜日 17時30分～19時30分

☎028・665・8724

不妊専門相談センターから

～とちぎ不妊対策シンポジウムが開催されました～



栃木県では、不妊への社会や企業の理解を深めることを目的として、とちぎ不妊対策シンポジウム『知ることから始めませんか？不妊治療と仕事の両立』社会も企業も応援しよう』を1月11日パルティとちぎ男女共同参画センターにて、開催しました。

シンポジウムでは、2名の専門医師と厚生労働省職員からの基調講演の後、「治療と仕事の両立」というテーマで、専門医師・企業関係者・ピアカウンセラー・不妊相談員による、パネルディスカッションが実施されました。

「不妊治療は、女性の生理周期により日程の調整が必要のため、経済的・心理的負担が大きい」「社内でない言葉が紹介されました」と当事者の切実な悩みが紹介されました。これに対し、

「こうした実態があることを社内にと知らせる」と「や」会社で使える制度を確認したり、助成制度を広げること必要」



という提案が出されました。

当日はカップルで参加されている方や相談コーナーを利用されている方も多く見られ、この問題への関心の高さがうかがえました。不妊治療を受けるカップルが増加している中、仕事と治療をうまく両立させていけるような環境を整えていくことが、今後ますます期待されます。

当センターでも、多くの方に不妊治療への理解を深めていただけるよう今後も様々な情報発信をしていきたいと考えています。ご相談に関しても、ぜひ、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

●助産師による相談：火曜日～土曜日 10時～12時30分、13時30分～16時

●医師による相談（要予約）

産婦人科医師による不妊相談と泌尿器科医師による男性不妊専門の相談があります。

詳細は不妊専門相談センターまで直接お問い合わせください。

専用電話：028・665・8099

Eメール相談：funin@parti.jp

情報ライブラリーから 本の紹介

情報ライブラリーの蔵書数は約20,000冊の
パルティのホームページからも検索・予約
できます。ぜひご利用ください。
<http://www.parti.jp/>

お母さんを支えつづけたい ～原発避難と新潟の地域社会～

高橋若菜・田口卓臣 編
(本の泉社)

新潟県新潟市を舞台に、福島から避難してきたお母さんの声や、お母さんを支え続ける地域社会の姿を紹介。全国の「子どもを守りたい」お母さんたち、支援者たちに思いをつなぐ一冊。



「全身〇活」時代

大内裕和・竹信三恵子 著
(青土社)

「就活」「婚活」「保活」この三重苦はどのように若者の生活を苦しめているのか。いま日本が抱える問題を真正面から見つめ、その根本にある原因を掘り起こします。



迫り来る「息子介護」の時代

平山 亮 著・上野 千鶴子 解説
(光文社新書)

介護からあぶり出す「男という困難」。介護なんてオレには「他人事」…そう思っていないですか!? 超高齢化社会が変える介護の常識。



ママの仕事復帰のために パパも会社も知っておきたい46のアイデア

NPO法人ファザーリング・ジャパン マ
ザーリングプロジェクト 著

(労働調査会)

職場に迷惑をかけてしまうのでは?と悩みながら、仕事を通して社会と深く関わりたいママへ。パパや採用担当者にも理解してほしい内容満載!!



カラフルなぼくら

スーザン クークリン 著・浅尾 敦則 訳
(ポプラ社)

20人に1人がLGBTといわれるこの時代に、自分の「性」と向き合うということ。自分らしい生き方へ踏み出した、実在する性同一性障害の若者たちの物語。



ゆうかんなちびのお針子

メアリー・ポー・オズボーン 作
ジゼル・ポター 絵・おがわ えつこ 訳

(らんか社)

お針子は、自分のすごいうでまえを世界中に知らせようと旅に出ます。グリム童話『ゆうかんなちびの仕立てや』を基にした大胆な再話。＜現在は絶版＞



ぐる～ぷもみの木の

おすすめシネマ

映画を愛し、10年間映画会を開催してきた「ぐる～ぷ・もみの木」。映画通メンバーのおすすめの映画を紹介します。

ドキュメンタリー映画

「何を怖れるーフェミニズムを生きた女たち」2014年 日本

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃、彼女たちはまだ20代、30代—

己れの生きにくさにもがき、社会に向かい、「NO」と叫んでいました。あれから約半世紀の間、女たちは、自己と社会を肯定すべく、つよい意思をもって生きてきました。

老年期を迎えた今もお、みずみずしくフェミニズムを生きています。

彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか? 次の世代に何を伝えようとしているのか?

「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が、フェミニストたちの証言でつづる、ドキュメンタリー映画です。

パルティ
ホールにて上映
&
上野千鶴子さん
トークあり

平成27年6月20日(土)
パルティ開館20周年記念
男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」
時間等の詳細は16ページをご覧ください。



平成27年度 講座のご案内

★一時保育あり★

対象講座と月齢(年齢)は
このマーク！

満6か月～未就学児



1歳～未就学児



お申込み・お問い合わせは...

電話・FAX・ホームページ、または直接ご来館にて。

ホームページ <http://www.parti.jp/>

P14
の講座

県とちぎ男女共同参画センター
TEL 028-665-8323
FAX 028-665-8325

P15
の講座

(公財)とちぎ男女共同参画財団
TEL 028-665-7706
FAX 028-665-7722



バルティ

検索

4月2日(木) 9:00～ 受付スタート

とちぎ女性政策塾

～政策にもっと女性の声を！～

知って、つながって、届けよう！

●開催日・内容

- ① 7/11 (土) ② 7/25 (土) ③ 9/ 5 (土)
④ 9/26 (土) ⑤ 10/ 4 (日) ⑥ 10/24 (土) ⑦ 10/31 (土)
※①7/11 (土) ③9/5 (土) ④9/26 (土) は
「地域指導者養成講座」との合同開催。

講義やグループワークを通して、審議会等で必要とされる
知識やスキルを身につけます。

- 時 間：10:00～15:00 (⑦のみ10:00～16:00)
●対 象：審議会等に参画する意欲のある女性又は自ら
一歩を踏み出したいと考えている女性や市町からの推薦等
●定 員：15名(選考あり)
●受 講 料：無料
●申込締切：6/19 (金) ※保育締切も同日
●申込方法：「とちぎ女性政策塾申込書」による申込が必要です。詳しくは
お問い合わせください。

※修了者には「修了証」を交付します。



男女共同参画セミナー

県民講座

わたしたちらしく、あなたらしく生きるために。
社会をカエル最初の一步。まずは自分にできることから。

●開催日時・内容・講師

①5/30 (土) 13:30～16:00 〈メディアリテラシー〉

誰もが知っておきたい情報読み解き術

～見方が変われば世界が変わる！～

フェリス学院大学文学部コミュニケーション学科教授

諸橋 泰樹

②6/13 (土) 13:30～15:30 〈LGBT〉

性のあり方は生のあり方

～グラデーションの性と多様な生き方～

立教大学非常勤講師

さんいつ

日本キリスト教団三一教会 牧師 平良 愛香

③7/ 5 (日) 13:30～16:00 〈貧困〉

見え隠れする貧困に向き合う

～私たちのこれからを考える～

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長

大西 連

- 対 象：どなたでも
●定 員：①②100名 ③80名
●受 講 料：無料
●申込締切：各開催日前日(先着順)
●保育締切：①5/15 (金) ②5/29 (金) ③6/19 (金)
※1講座だけの受講もできます。



地域指導者養成講座

引き出すチカラ、伝えるチカラをみがいて、リーダー力をアップ！

●開催日・内容・講師

- ① 7/11 (土) 県の男女共同参画推進施策・協働
② 9/ 5 (土) ファシリテーション
③ 9/26 (土) プレゼンテーション
④ 12/ 5 (土) 防災

※①～③は「とちぎ女性政策塾」との合同開催

講義やワークを通して、地域のリーダーとして活動するために必要とされる
知識や技法を身につけます。

- 時 間：①11:00～15:00
②10:00～15:00
③10:00～15:00
④13:00～16:00

- 対 象：男女共同参画地域推進員、その他受講を希望する方
●定 員：30名程度
●受 講 料：無料
●申込締切：6/19 (金) ※保育締切日も同日



不妊専門相談センター「おしゃべりサロン」

同じ悩みを持つ人に“会いたい” “聞きたい” “話したい” という方
たちの集まりです。

●開催日・内容

- ①4/18 (土) 不妊に悩む女性
②5/16 (土) 流産に悩む女性
③6/18 (木) 二人目以降の不妊に悩む女性
④7/18 (土) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性
⑤9/19 (土) 不妊に悩む女性

進行：不妊専門相談センター相談員

- 時 間：①②④⑤は13:30～15:30
③は10:00～12:00
●対 象：不妊・流産に関連した悩みを持つ女性
●定 員：10名程度
●受 講 料：無料
●申込締切：各開催日前日
※お申し込みは栃木県不妊専門相談センター (028-665-8099)
までお願いします。



TOCHIGIで輝く☆

「働くウーマン」プロジェクト事業 公開講座2015

(とちぎ男女共同参画センター&宇都宮市&宇都宮大学連携事業)

「女も男も暮らしやすい社会」を実現するためには、男性にこそ新しい
意識を持ってもらうことが必要です。

男性の家事・育児への参画はもちろん、男性の育児スタイルや働き方にも
変化の時代が来ています。

女性が本人の意思に反して就業を継続していくことができないことのない
ように、男性がどのように関わっていけばよいのか。

また、女性の活躍を推進するために取り組むべき労務の課題についても
お話いただきます。

●開催日・内容・講師

8/25 (火) 「いま、変わる男の働き方

～女性活躍推進のカギは男性にあり！～

内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー・

厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員

(民間シンクタンク研究部長)

渥美 由喜

1968年生まれ。1992年東京大学法学部卒業後、複数のシンクタンクを経て
2009年(株)東レ経営研究所に入社。企業のコンサルタント、アドバイザーとし
て、ワークライフバランスやダイバーシティの取組推進をサポート。共働きの妻
と2男の育児中。5年前から父の介護も実践。著書は『イクメンで行こう』『少
子化克服への最終処方箋』など多数。

- 時 間：13:30～15:30 ※受付開始13:00～
●会 場：宇都宮大学 5B21教室
●対 象：どなたでも
●定 員：150名(申込先着順)
●受 講 料：無料

女性のためのこころのケア講座(全12回)

DV・ハラスメントなどのこころの傷つき(暴力の様々な形態、トラウマの対処法、人との境界線)やより良いコミュニケーションの方法、自尊心などについて考え学びます。

●開催日・内容・講師

- ①5/14(木) DV・トラウマを理解する
- ②5/28(木) 「世間の枠」と私らしさ
- ③6/25(木) 身体的暴力・性暴力
- ④7/23(木) 精神的暴力・モラルハラスメント
- ⑤8/27(木) トラウマに対応するツール
- ⑥9/24(木) 傷つきによる喪失とグリーフ ※⑦～⑫は後期に実施

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラー 藤平 裕子

●時 間：10:00～12:00

●対 象：女性(暴力経験の有無を問いません。当事者の家族や支援者の女性もどうぞ)

●定 員：10名 ●受講料：各回500円

●申込締切：各回先着順 ※保育申込締切(各回3週間前まで)

心と体の力に気付く

女性と子どものための護身術 ～WEN-DO～

女性、子どもの力でいざという時に自分を護る一危険な場面を回避する方法や、現場からとにかく逃げて助けを求める方法を学びます。

●開催日・講師・内容

8/22日(土) リアライズYOKOHAMA代表 橋本 明子

- ①講義 護心術 (暴力に気付く・避ける、自分を大切にするには)
- ②実技 護身術 (行動を起こす、体の中の急所、防御の方法、手首をつかまれた時のはずし方など)

●時 間：13:00～15:00

●対 象：小学校4年生以上の女性 (小学生は女性の保護者と一緒にご参加ください)

●定 員：20名

●受講料：小・中・高校生500円、18歳以上の大人1,000円(専門学生・大学生も含む)

●申込締切：7/22(水)

家族ケアプログラム

～当事者、家族、支援者、みんなのためのセルフケア(全2日)～

夫婦・親子・家族の問題から、こころもからだも楽になろう!

●開催日・内容

①9/4(金) 家族の中のMaking Peace
 キレない、タメない、コもらない 家族ケア講座
 ～女性と子ども問題の視点から

②9/5(土) 私の中のMaking Peace
 オレない、へたらない、ツブレない こころの手あて講座
 ～共に元気になる支援を目指して

●講 師：NPO法人TEENSPOT代表

思春期・家族カウンセラー 八巻 香織

●時 間：10:00～16:00

●対 象：20歳以上、どなたでも (ご家族や親しい方との参加はご遠慮ください)

●定 員：20名

●受講料：2,000円(別途教材費1,300円)

●申込締切：8/4(火)

マドレボニータの「産後の心と体のセルフケア」 (6月コース・9月コース 全2回)

子育てには、母の心と身体が必要です!

●開催日・講師・内容

【6月コース】①6/4(木) ②6/11(木) 【9月コース】①9/10(木) ②9/17(木)
 NPO法人マドレボニータ認定 産後セルフケアインストラクター 佐藤 直子
 バランスボールを使った有酸素運動、コミュニケーションスキル、日常でできる具体的なセルフケアを学びます

●時 間：10:00～12:00

●対 象：産後2カ月以降(産後は何年まででもOK)の女性
 生後6カ月未満の赤ちゃんは同伴で参加可能

●定 員：各コース 14名 ●受講料：各コース2,000円

●申込締切：【6月コース】5/8(金) 【9月コース】8/11(火)

ポジティブ・ディシプリン講座

～がんばりすぎない前向きな子育て～(全2回)

イライラしたり、どなってしまうたり...ひとりで子育てがんばりすぎていませんか?子育てストレスを軽くし、楽な気持ちで子育てに向かう方法を一緒に考えましょう。

●開催日・講師・内容

①7/9(木) ②7/16(木)
 ママリクス代表 看護師 落合 香代子

同じ目線で向き合って、子どもの自信と親子の信頼関係を築く、自分らしい子育てについて考えます。

●時 間：10:00～12:00

●対 象：未就学時の母親・父親・祖父母、子育て支援者

●定 員：30名 ●受講料：2,000円

●申込締切：6/9(火)

新しい時代を生きる!女子学生のためのキャリア講座

これからの女性のワークスタイル、ライフスタイルについて考えてみませんか?

●開催日・講師・内容

7/19(日) 東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科准教授、
 studio-L 岡崎 エミ
 NPO法人ハナラボ 代表理事 角 めぐみ

【レクチャー】

時代の変化と女性の働き方「女性のリーダーシップとは?」

【ワークショップ】

・体験/地域課題解決ワークショップ

●時 間：13:00～16:00

●対 象：女子高校生、女子専門学校生、女子大学生(保護者や進路指導教員も参加可)

●定 員：30名 ●受講料：無料

●申込締切：7/7(火)

ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 試験準備講座(全14回)

FP3級取得を目指す実践的講座です。保険や税、年金の仕組み、資産運用について知りたい方も。

●開催日・講師・内容

講師：栃木県ファイナンシャル・プランナーズ協同組合

- ①5/27(水) ②6/ 3(水) ライフプランニングと資金計画
- ③6/10(水) ④6/17(水) リスク管理
- ⑤6/24(水) ⑥7/ 1(水) 金融資産運用
- ⑦7/ 8(水) ⑧7/15(水) タックスプランニング
- ⑨7/22(水) ⑩7/29(水) 不動産
- ⑪8/19(水) ⑫8/26(水) 相続・事業継続
- ⑬9/ 2(水) ⑭9/ 4(金) 試験の傾向と対策

●時 間：10:00～12:00

●対 象：女性

●定 員：30名

●受講料：12,000円(別途教材費3,240円) ●申込締切：5/8(金)

●注意事項

①試験日は9/13(日)です。受験希望の方は、別途受験料6,000円が必要です。受験申込みについては、6月頃講座の中でご案内する予定です。
 ②筆記用具、電卓を各自ご持参下さい。

再チャレンジ支援セミナー パソコン講座 再就職に向けたスキルアップを応援します!

※各講座とも定員20名 ※教材費別途 ※研修環境 Windows7、Office2010

	エクセル・ワード基礎編 (午前コース 全6回)	エクセル・ワード基礎編 (午後コース 全6回)	エクセル初級編 (全5回)
開催日	6/24(水)～26(金)、7/1(水)～3(金)	6/24(水)～26(金)、7/1(水)～3(金)	9/1(火)、3(木)、8(火)、10(木)、15(火)
内容	エクセルでは簡単な表作成やSUM関数など、ワードでは文書作成	エクセルでは簡単な表作成やSUM関数など、ワードでは文書作成	基本操作の復習、COUNTA、RANK関数などデータベース機能の学習
時間	10:00～12:00	13:30～15:30	10:00～12:00
対象	マウス操作と文字入力可能な方	マウス操作と文字入力可能な方	基礎編修了者、または四則演算、簡単な関数、表作成ができる方
受講料	7,000円	7,000円	6,000円
申込締切	5/16(土) ※保育申込締切日も同日	5/16(土)	8/6(木) ※保育申込締切日も同日



エクセル・ワード基礎編
(午後コース 全6回)は
一時保育対象外です。



パルティは、平成8年4月に開館し今年で20年目を迎えます。パルティの20年のあゆみをふりかえり、今後も県民の皆さまと共に男女共同参画を進めていくために、下記事業を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

- 開催日時 平成27年6月20日(土)
10:00～12:00 映画上映 「何を怖れる フェミニズムを生きた女たち」
(2014年 監督：松井久子〈代表作「ユキエ」「折り梅」「レオニー」〉)
13:00～13:20 記念式典
13:30～15:00 上野千鶴子氏講演会
「リブから40年、日本の女はどこまで変わったか？」
- 会場 パルティ とちぎ男女共同参画センター 1F パルティホール
- お問合わせ 栃木県女性団体連絡協議会 ☎028-665-7710
栃木県人権・青少年男女参画課 ☎028-623-3074



撮影：岡戸雅樹

上野 千鶴子 さん
社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンアクションネットワーク(WAN)理事長



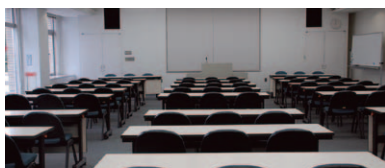
パルティをご利用ください！

パルティ とちぎ男女共同参画センターには、ホールや研修室・調理室・OA研修室・パフォーマンススタジオなどの施設が充実。会議や研修、イベントなど、さまざまな場面でご利用いただくことができます。また、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの勉強会など男女共同参画を直接の目的とする活動の場合、利用料金の減免制度があります。お気軽にご相談ください。



●各種研修室

定員16名～100名まで、広さいろいろ。行事内容や参加人数に応じてお選びください。



●和室

水屋と炉があり、茶道に最適。華道、着付けのほか、机を並べて会議や講習会を行うこともできます。



●ライフアトリエ

調理や手工芸など、創作の場として。オープンスペースで開放感たっぷり。男性の料理教室、女性のDIY、グループのおしゃべりなどに。



こどものへや

研修室をご利用になるお客様のお子さんをお預かりする託児室。庭には遊具と砂場があり、外遊びも楽しめます。(保育士は主催者側にて要手配)

●パフォーマンススタジオ

エアロビクス、ジャズダンス、ヨガなど動きのある催し物に。ロッカールーム、シャワー室完備。



●パルティホール

定員378名。電動可動椅子と手動の張り出しステージでレイアウト自由自在。専門のスタッフがサポートします。乳幼児連れのお客様にも安心の防音設計「ファミリールーム」完備。



●レストラン『Be-Can』

喫茶や軽食はもちろん、会議のコーヒーやお弁当などもぜひご利用ください。



ご利用方法

- まずはお電話で、ご希望の施設名・ご利用日・参加人数などをお知らせください。貸出状況をお調べします。
窓口受付時間/9:00～17:00 TEL/028-665-7700(代)
- お申込みはご利用日6ヵ月前(営利目的は5ヵ月前)より承ります。受付期間は、ホールはご利用日の20日前まで、研修室などは7日前までです。
- ご利用料金は施設により異なります(営利目的はその倍額)。詳しくはお問合わせください。
- パルティのホームページで施設の詳細や貸出状況、利用料金をご覧ください。 <http://www.parti.jp/>

開館時間 / 9:00～21:00(日曜日は17:00まで)
休館日 / 毎週月曜日・国民の祝日・12月29日～1月3日

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください。

編集・発行 / 公益財団法人とちぎ男女共同参画財団
〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1
TEL.028-665-7700(代) FAX.028-665-7722

表紙作者 / よしこSUN
印刷 / 伴印刷株式会社

案内図

JR宇都宮駅よりバスで約25分
とちぎ男女共同参画センターバス停
下車 徒歩2分

